

初めての『小樽港報道向け見学会』の開催について ～小樽港開港120年！・「炭鉄港」日本遺産認定記念！！～

令和元年（2019）は、小樽港が「開港」して120年の節目の年です。また、「炭鉄港」が今年5月28日に「日本遺産」に認定されました。これらを記念し、このたび報道機関を対象に「小樽港見学会」を開催します。当日は小樽港の発展の礎となった北防波堤に実際に上陸してもらい、小樽港の歴史をご案内します。

「開港120年」、「炭鉄港の日本遺産認定」を記念し、報道向けとしては初めてとなる小樽港の見学会を開催します。普段は立入りのできない北防波堤に実際に上陸しての見学や小樽港湾事務所資料コーナーで小樽港の歴史・役割について解説します。

■説明会開催内容

1. 日 時：令和元年8月27日（火曜日）14：00～15：30
2. 場 所：小樽開発建設部小樽港湾事務所（小樽市築港2番2号）
3. 内 容：小樽港湾事務所所有の船舶による小樽港（北防波堤など）の見学、「小樽港湾事務所みなとの資料コーナー」での説明
4. その他：見学会の参加を希望される場合は、乗船の都合上、8月26日（月）15時までに別紙の乗船名簿に必要事項を記載の上、広報官へお知らせ願います。申込みのない場合、当日参加できない場合があります。



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

広報官 田中 邦彦 (0134-23-9910)

小樽港湾事務所 計画課長 本間 薫 (0134-22-6131)



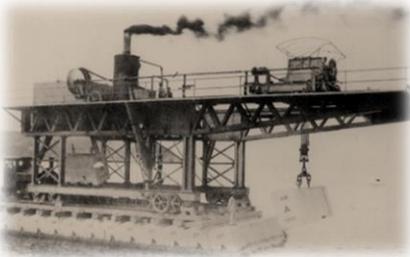
小樽開発建設部ホームページアドレス <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>

小樽港開港120年！・「炭鉄港」日本遺産認定記念！！

小樽港現地記者説明会

■開催内容

1. 日 時：令和元年8月27日（火曜日）14：00～15：30
※荒天の場合、延期となる場合があります。
2. 場 所：小樽開発建設部小樽港湾事務所（小樽市築港2番2号）
3. 内 容：小樽港湾事務所所有の船舶による小樽港（北防波堤など）の見学（45分程度）、小樽港湾事務所みなとの資料コーナーでの説明（45分程度）
4. 申込期限：令和元年8月26日（月曜日）15時まで



小樽築港の始まり…

明治30年(1897)小樽築港事務所(現在の小樽港湾事務所)の初代所長である廣井勇博士が第1期工事として北防波堤に着手し、日本の近代築港の先駆けとなりました。また、着工の2年後には、外国との貿易を行うため「開港」をしています。

(写真)北防波堤の建設状況

小樽港の発展…

大正10年(1921)までに北防波堤、南防波堤などの防波堤が完成し、今の小樽港が形づくられました。大正12年(1923)には、「小樽運河」が完成、荷役の効率化が図られました。小樽港の整備にともない、大正14年(1925)には、小樽港に入港する汽船の数は、全国の6位と大きく発展をとげ、北海道の開拓の拠点として今日まで発展してきました。



(写真)当時の小樽港の風景



石炭の積出し港として…

明治44年(1911)手宮駅の構内に「木造トレスル高架栈橋」を建設、年々増加する石炭の輸送に対応し日本の産業の発展に貢献してきました。昭和に入り、更なる石炭輸送の増加、高架栈橋の老朽化のため、今の勝納付近に近代的高性能な積み込み施設を建設し、石炭産業が衰退するまで稼働を続けてきました。

現在…

今も北防波堤は、荒波から小樽港を守り続けています。また、石炭を積出すための機械の基礎が今も一部残っており、当時の面影を偲ばせます。

(写真)北防波堤と北炭のローダー跡



乗 船 名 簿

番号	氏 名(フリガナ)	会 社 名	性 別	年 齢	TEL	備 考
1			男・女			
2			男・女			
3			男・女			
4			男・女			
5			男・女			
6			男・女			
7			男・女			
8			男・女			
9			男・女			
10			男・女			
11			男・女			
12			男・女			
13			男・女			
14			男・女			
15			男・女			
16			男・女			
17			男・女			
18			男・女			
19			男・女			
20			男・女			

※御記入いただいた個人情報については、8月27日開催の「小樽港見学会」以外には使用しません。